

## 1 指導概要

教科		科目		
体育		体育 I	単位数： 3 単位	
<p>指導目標：体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>				
メディア視聴	あり	60%	教科書	大修館書店「現代高等保健体育」
スクーリング	1 単位時間×15 回	合格時間数 15 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚	副教材	アクティブスポーツ
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)		レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ		第 1 回 (6/30)	第 1 回 ・スポーツがどのように世界中に広まったのかを理解する。 ・多様なかわり方によるスポーツ文化を理解する。
	オリンピックとパラリンピックの意義			第 2 回 ・オリンピックの価値やパラリンピックの意義について理解する。
2	球技・バレーボール		第 2 回 (9/30)	第 3 回 第 4 回 第 5 回 第 6 回 ・バレーボールの基本技能やルールを習得する。 ・ゲーム形式で自己の技能を発揮し、仲間と協力できる力を身に付ける。
	球技・バスケットボール			第 7 回 第 8 回 第 9 回 第 10 回 ・バスケットボールの基本技能やルールを習得する。 ・ゲーム形式で自己の技能を発揮し、仲間と協力する力を身に付ける。
3	球技・サッカー		第 3 回 (11/30) 提出予備日： (1/15)	第 11 回 第 12 回 第 13 回 第 14 回 第 15 回 ・サッカーの基本技能やルールを習得する。 ・ゲーム形式で自己の技能を発揮し、仲間と協力する力を身に付ける。

## 2 評価の観点

知識・技能	運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組む。
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。
主体的に学習に取り組む態度	意欲的にレポート作成に取り組み、スクーリングに出席し身近な事象をもとに、体づくり運動に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することを積極的に行おうとしている。

## 3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価する。
--

## 4 担当者からのメッセージ

体育 I では、スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方などを理解するとともに、実生活に役立てること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び体づくり運動に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるように体を動かしていきます。スポーツ等の安全に配慮したうえで、ルールを理解し、教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。
---